



平成28年2月12日

各位

上場会社名 株式会社 サンエー化研
 代表者 代表取締役社長 藤岡 宣隆
 (コード番号 4234)
 問合せ先責任者 執行役員 経理部長 芝 彦尚
 (TEL 03-3241-5701)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年11月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,800	860	1,000	670	61.05
今回修正予想(B)	29,500	1,000	1,160	770	70.16
増減額(B-A)	△1,300	140	160	100	
増減率(%)	△4.2	16.3	16.0	14.9	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	29,884	141	85	51	4.70

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,500	950	640	58.32
今回修正予想(B)	26,000	1,070	710	64.69
増減額(B-A)	△1,500	120	70	
増減率(%)	△5.5	12.6	10.9	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	26,681	84	69	6.34

修正の理由

売上高については、スマートフォン市場の成長が踊り場に差し掛かったことや、中国の景気減速がより鮮明になったことで、表面保護フィルムの販売が伸び悩みました。また、電材用工程紙やIT関連用途の剥離紙などの販売も海外向けが低調で計画に届かない見通しとなり、前回公表の予想値よりも減収となる見込みとなりました。

一方、利益面については、原油価格が想定よりも下落したことによる原材料コストの低減に加え、各工場における生産合理化の一層の強化により、前回公表の予想値よりも増益となる見込みとなりました。

(注)本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上